



いのちのたび博物館 休館のお知らせ

いのちのたび博物館は、昨年11月に開館20周年を迎えました。いつも応援してくださる皆様のお陰と

感謝申し上げます。開館20周年を記念し、常設展の一部を10年ぶりにリニューアルします。そのため

2月1日(水)～3月3日(金)までお休みします。リニューアルオープンを楽しみにお待ちください。

3月4日(土)リニューアルオープン!!



イリオモテヤマネコの剥製

今回のリニューアルの目玉は、大型恐竜「スピノサウルス」

大型哺乳類「エレモテリウム」の展示だよ。

どこに展示されるのかなー。ワクワク、ドキドキだね。また、3月4日(土)から

5月7日(日)まで **特別展 世界の野生ネコ科展** を開催

します。しなやかに美しくそして最強!のネコ科の仲間たち。

どうぞお楽しみに…。



ミュージアムのタネ

北九州周辺の地層からわかる大昔の環境と生物

北九州周辺には様々な時代の地層が分布し、化石もたくさん見つかります。それらを調べると、それぞれの地層が

形成された環境やそこに暮らす生物は、時代によって大きく異なっていたことがわかります。

小倉南区の平尾台には石灰岩という岩石が分布します。山口県の秋吉台などの類似の石灰岩の研究から、この石

灰岩は、3億年ほど前の古生代という時代に、様々な生物が暮らす暖かい浅い海のサンゴ礁で形成されたと考えられ

ています。小倉北区の山田緑地周辺などには、1億年ほど前の中生代という時代に形成された地層が分布します。地層

や化石から、当時は、乾季・雨季のある気候だったと考えられており、魚やワニ、カメなどの仲間が暮らす湖が存在

し、周辺の低地には恐竜もいたことがわかっています。また、この恐竜などを含む地層は、主に火山噴出物からなる

地層に厚く覆われており、火山噴火によって環境が激変したことを示しています。八幡西区、若松区、戸畑区、小倉北区

などには、4000～3000万年ほど前の新生代に形成された地層も分布します。この時代には、亜熱帯性の暖かい

気候のもと大森林が形成され、その後、暖かい浅い海が広がって、多様な貝類のほか、サメやクジラ、海鳥の仲間など

が栄えました。

博物館には、このような北九州周辺の地層からわかる過去の環境やそこで暮らした生物について詳しく紹介するコー

ナーがあります(図1～5)。ぜひ、現在とそれぞれの時代の環境や生物の違いを比べてみてください。

図1



図2



図3



図4



図5



図1 平尾台の石灰岩が形成された3億年ほど前のサンゴ礁の復元

図2 北九州市の1億年ほど前の地層から見つかった魚の化石

図3 北九州周辺に1億年ほど前にあったワニや魚が泳ぐ湖の復元

図4 恐竜が暮らす1億年ほど前の北九州周辺の復元

図5 若松区や小倉北区の3000万年ほど前の地層から見つかった貝など

の化石

自然史課学芸員 御前 明洋

先生、ちょっと聞いて!

小学校第6学年 理科「土地のつくりと変化」出前授業について

いのちのたび博物館では、小学校6年生の理科「土地のつくりと変化」の学習支援を実施しています。来年度の出前授業を下記の要領で募集します。

- 申込期間： 令和5年4月1日(土)～15日(土) 17:00必着
- 決定方法： 抽選 ※先着ではありません。
- 申込方法： 3月上旬に配信する専用申込書に必要事項を記入の上、博物館へ FAX (661-7503) にて送信してください。